



鳥取県東部中小企業青年中央会 会 報

大賞

【サブテーマ】
動き考え方歩みを記す

2019年7月発行 N.192

発行人:茶谷 友士(第44期 会長)
編集責任者:伊藤 省吾(今を生きる僕たちの委員会)
編集委員会:今を生きる僕たちの委員会



鳥取県東部中小企業青年中央会

- 綱 一、われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
領 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

URL <http://www.tsc21.gr.jp/>
E-mail tsc@tsc21.gr.jp
FB <https://www.facebook.com/east.choukai/>



会長挨拶

第45期会長 吉田 雅之



7月よりスタートいたしました東部青年中央会第45期、会長を務めさせていただきます吉田雅之です。どうぞよろしくお願ひ致します。時代は平成から令和へと移り変わる中で、新たな年度に掲げましたテーマは「高みに挑め」、サブテーマは「動き考え方歩みを記す」です。私は日々の生活の中で大切にしているものがあります。「挑戦」と「考動」というキーワードです。

私たちには過去が存在します。その中には、何かに失敗した過去、もっと頑張ればよかったという後悔の過去、誰にもネガティブな過去は存在します。ですが出来なかった過去の自分を受け入れ、諦めることなく「挑戦」し、試行錯誤を繰り返して成功に辿りついた時、あの日の失敗が必要であったことを知ります。そしてネガティブな過去は消え、自信に満ちた今が存在するようになります。また、昔から山陰には「煮えたら食わあ」という言葉があります。優柔不断であり、周囲の様子を伺いながら、多数派に従おうとする習性を言いたてた言葉です。しかし若手経営者の精鋭である私たちに必要な「考動」は、食わあという他人任せの考えではなく煮るための挑戦です。何かに挑むということは少なからず不安が付きまといます。心が揺れ思考は鈍り迷いが生じこともあります。ですが、勇気を持って考動を起こし、小さな努力を積み重ねることを怠らなければ、人は必ず成長します。日々新しく創造的に昨日の自分を乗り越える。そこに人間の本質があります。新たな時代を迎えた皆さんには、いま自分がいる場所で満足することなく、より高みへ昇っていただき自分にしか刻めない歩みを記して欲しいと思います。そして各委員会へ伝えたテーマ「心理、思考、知識、決断、行動、継続」の6つをしっかりと学び、皆さんの能力を引き上げられるような1年にしたいと思います。

新たな時代を迎えた私たちには、さらなる飛躍を成し遂げるために飽くなき挑戦を続ける責任があります。45段目階段に挑めることに感謝を抱き、令和の始まりに相応しい歩みを記したいと思います。1年間どうぞよろしくお願ひします。

直前会長挨拶

直前会長 茶谷 友士



皆さんこんばんは。平成30年度、第44期は、皆様に支えられて無事45期にバトンを渡す事ができました。6月卒業例会では、7名の卒会者と共に、私へのサプライズに感動しました。最後まで入念に創り上げてくれた伊藤委員長、今を生きる僕たちの委員会メンバーの皆さん、44期を素晴らしい例会で締めくくって頂き、ありがとうございます。

人生に限りがあるという事は、皆さん知っていますが、それがいつなのかを知っている人はごくわずかです。しかし、青年中央会の卒会までの年数は、現役会員なら全員知っているでしょう。残された期間で何がしたいのか、どう過ごしたいのかを明確にして、限りある黄金の日々を大切にしてほしいです。私は残された現役生活の猶予は一年です。在籍年数14年の集大成として、一日一日を踏みしめて活動して参ります。

青年中央会は、年齢に関係なく素晴らしい人がたくさん在籍していると思います。その中の一人が吉田会長です。人望が厚く、物事をいろいろな角度から見る事ができ、瞬時に判断を下す事ができます。吉田会長なら45期を素晴らしい年度にしてくれると確信し、自信をもって推薦致しました。今一度この45期、吉田会長を宜しくお願ひ致します。

また、今期、東部が主幹である45期林県会長ですが、これまでの経験と知識を生かし、出席率が低迷している県事業の復活ができるのは、現役会員の中で林県会長しかいません。東部が一丸となり、中部・西部の方を引っ張り、活気ある県事業を展開しましょう。本当に皆様には一年間お世話になり、ありがとうございます。これからも変わらぬ、ご指導を宜しくお願ひ致します。

新委員長挨拶

油谷 章吉 委員長 Mind Revolution委員会



今年度、委員長を務めさせていただきます油谷章吉です。活動テーマを「心に変革をおこし、強いメンタル作りとビジネスにつなげよう！」と致しました。

何かに挑戦する時、そして問題に立ち向かっていく時…必ず遭遇する「心の揺れ、迷い」。この揺れ動く心に打ち勝ち、その後の決断、行動につなげていく力を身につけていきたいと考えております。また、今年度のテーマ【高みに挑め】を目指し、ビジネス心理に関する検定にチャレンジします。共に楽しみ、助け合い、そして自己研鑽し、委員会が終わっても、知識や経験としてこの新時代「令和」に活かせる成果を残していきたいと思います。

メンタルの弱い私ですが、1年間ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

木村 龍也 委員長 我、この道をゆく委員会



当委員会のテーマを「知識と経験から人生観を養う」としました。委員会名の「我(われ)」とは、委員会メンバー個々人のことを、「この道」とは人生を指します。

人生という道は、誰一人として同じ道を歩まない。人は誰しも、いつかは必ず死を迎えます。我々個々人が一生の内で得られる知識や経験、見る世界は非常に限られたものです。しかし、青年中央会には業種や職種の垣根を超えて、多数の会員が所属しています。その環境を活かし、当委員会では、背景の異なる仲間と共に、知識を深め、知見を交わし、他者の視点、様々な切り口で自身を見つめ直すとともに、ワークショップやフィールドワークを通して、多彩な人生観を養うことを目的として一年間活動してまいります。

鈴木 丈夫 委員長 プロアクティブ委員会



本年度、プロアクティブ委員長を務めさせて頂きます鈴木丈夫です。

活動テーマを、高みに挑む「行動力」の成長～企業が求める危機回避行動力向上～とし1年間活動して参ります。行動を起こす前には必ず何かしらの“問題”が出ます。その問題が多ければ多いほど、行動力は低下します。真の問題解決として、問題が起こる前に積極的に問題解決行動する(Proactive)事を共に学び「行動力」の更なる成長を醸成出来る委員会活動を行って参ります。私達には限られた時間しか残っていません。最短時間で自身の求めるゴールにたどり着く為の「行動力」を養える様、委員会メンバー全員と共に一歩踏み出す勇気を持って取り組んでいきます。皆様、1年間宜しくお願ひいたします。

楠 光裕 委員長 ピンチをチャンスに変える委員会



当委員会の活動テーマは「ピンチをチャンスに変える思考法」～十人十色の思考と着眼点～です。近頃、ちょっとした発言などによるSNS等での炎上案件や異常気象による自然災害など、予測の難しい「ピンチ」な状況が多いように思います。しかし、その「ピンチ」な状況は考え方や捉え方を変えるだけで「チャンス」にもなり得ます。むしろそこに大きな「チャンス」が眠っているとさえ思います。そこで当委員会では、様々なピンチな状況での問題に対する対応策を考え、さらにピンチをチャンスに変える思考法や着眼点を、過去の偉人や出来事から得た「思考のヒント」を元に学んでいきます。担当例会は9月と6月です。卒業例会は卒業生のこれから新たな道がより良いものとなるような送り出しを目指しております。1年間、宜しくお願ひ致します。

田村 悟 委員長 即断即決委員会



今年度、委員長を務めさせていただきます田村です。私は、物事を決断する際、一番大切にしていることは、直観を信じる事です。そこから、活動テーマを「直観を信じる勇気～新たな時代への挑戦・決断・行動～」としました。

当委員会では、フィンテックのような、新しい時代の金融サービスを学ぶ一方、実際に金融投資を実践し、自分の直観力を磨き、即断即決で様々な事に挑戦していくリーダーを目指し、一年間活動していきます。

例会は、2月オープン例会を担当します。45周年の節目にふさわしく、多くの方に来場いただき、皆様が感動していただける例会になるよう、委員会メンバー全員で頑張っていく所存です。皆様、一年間、どうぞ宜しくお願ひ致します。

西田 誠一 委員長 CA委員会



本年度、CA委員会の委員長を務めさせていただきます西田誠一です。P D C AサイクルのC h e c k (評価)とA c t i o n (改善)について着目するため「CA」と命名しました。活動テーマである「継続」するためには、振り返りを実践して評価を行い、問題点に対する改善案の検討をすることが重要であると考えています。まさしくP D C Aサイクルの「CA」です。委員会活動では振り返りと改善案検討を繰り返すことで、P D C Aサイクルを本格的に実践します。当委員会は10月家族ふれあい例会と3月手作り例会を担当いたします。家族、そして仲間と一緒に楽しめる例会を実現するため、委員会メンバーが一致団結して取り組みます。1年間よろしくお願ひいたします。

新副会長挨拶

船越 誉裕 副会長



45期副会長を務めさせていただきます、船越誉裕です。昨年に引き続き2回目となります。今年度は、Mind Revolution委員会を担当します。

委員会では、「心理」のテーマの元PDCAサイクルの中で揺れ動く心を整え、鍛えるトレーニングを学び共有し、一年間を通じビジネス心理検定に挑むというハードルの高い委員会ですが、さらなる高みに挑み続けたいと思います。

油谷章吉委員長、西原直美副委員長、委員会メンバーが全力で活動出来るようバックアップしていきます。皆様、1年間どうぞよろしくお願ひ致します。

山田 学 副会長



この度、副会長を努めさせて頂きます、山田学と申します。令和元年、45周年を迎えた青年中央会の副会長という重責に身の引締る緊張感と責任感を感じています。会員の皆様のご協力を頂きながら精一杯努めさせて頂きますので何卒宜しくお願ひ致します。吉田会長を全力サポートし、これまでの青年中央会活動を通じ、多くの諸先輩から教えて頂いたことを継承して参ります。担当委員会は「我、この道をゆく委員会」です。知識と経験から人生観を養うという壮大な活動テーマをもとに、仲間と共に知識を深め、知見を交し、経験を重ね、楽しく人生観を養います。私も吉田会長の年度テーマである「高みに挑め」と真剣に向き合い、木村委員長・松島副委員長・委員会メンバー全員で挑戦し、自身も大きく成長できるよう努力いたします。皆様1年間宜しくお願ひ致します。

安岡 大輔 副会長



昨年度に引き続き、45期副会長を務めさせていただきます安岡大輔と申します。

昨年度は、副会長として、悩みながら多くのことを学ばせていただいた一年間でした。

令和元年度、そして45周年という節目の年、吉田会長が掲げられた「高みに挑め」のテーマのもと、担当させていただきますプロアクティブ委員会、フラワーフェスティバル実行委員会で今まで学んできたことを活かして全力でサポートし、東部青年中央会がより高みに向かっていけるよう精進してまいります。

皆様、一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

工藤 陽平 副会長



本年度、副会長に選任いただきました工藤陽平です。元来力不足ではあります、皆様方のご支援と御協力を頂きまして、会の運営に努力して参りたく思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。

「ピンチをチャンスに変える委員会」「サポート実行委員会」を担当させて頂きます。委員長・副委員長の思いが皆様に伝わるよう、また委員会メンバーひとりひとりにとって思い出深い1年になるよう、私なりに工夫をこらして盛り上げていきたいと思います。

発会45年の節目を迎え「高みに挑む」本年、吉田会長が作られる歴史の一ページが実り多きものになりますよう、力の限りサポートして参りたいと思います。1年間どうぞよろしくお願ひ致します。

尾崎 貴絵 副会長



この度、副会長を務めさせていただきます、尾崎貴絵です。役員経験は少ないですが、これまで会を運営してくださってきた方や支えてくださる会員の方に感謝を忘れず、吉田会長を微力ながらサポートさせていただきます。45期という節目の年度でもありますし、改めて会を振り返り、今後の方向性を落とし込むいい機会になるのではと考えています。また、担当は「即断即決委員会」です。田村委員長の持ち味を活かした、金融について広く学ぶことを通し、テーマである「即断即決」を実践していく委員会です。安引副委員長とともに、委員長をサポートし、委員会メンバーの実になる委員会活動になることを期待し、楽しみにしています。1年間どうぞよろしくお願ひ致します！

松島 祐一 副会長



節目の45期に3度目の副会長を務めさせていただきます松島祐一です！

今年度、吉田会長が掲げられるテーマは「高みに挑め」。キーワードである「挑戦」と「考動」を念頭に他人任せの考えではなく、自分自身の信念をもって何事にも挑戦し、最善を尽くしたいと思います。

担当させて頂くCA委員会は「継続」をテーマに1年間活動してまいります。PDCAのCAに注力し、評価と改善を繰り返し実践・継続して、より良い計画と実行に繋げていければと考えます。会長から私、私から委員長、委員長・副委員長から委員会。全てが円滑になるよう架け橋として邁進していきますので会員の皆さんどうぞ宜しくお願ひ致します。

県会長挨拶

第45期県会長 林 正太郎



この度、鳥取県中小企業青年中央会、第45代県会長を務めることとなりました林正太郎でございます。45年の長きに渡り、多くの困難を乗り越え、また功績を築かれてきた青年中央会OBの皆様には心より感謝の意を表したいと思います。

私が初めて県の事業に参加させてもらった時のことは今でも鮮明に覚えています。東部にはない底知れぬパワーと勢いがある。鳥取の元気の中心は県青年中央会だ。当時は本気でそのような印象を受け、ただただ圧倒された記憶があります。また、年数を重ねるごとに東部地区以外にもたくさんの方々がいました。そんなエネルギー溢れる県青年中央会が私は大好きになりました。

そのような想いの中、年度テーマを『共創』サブテーマに~広げよう、深めよう友情の輪~としました。私は県の事業を企画、運営するに当たり、次の二つを念頭に事業運営を行っていこうと思っております。参加してもらった会員に心から楽しんで喜んでもらえる事業を運営すること。一人でも多くの仲間を増やしてもらえるように仲間づくりの場を提供すること。

成果は一人の力で成し遂げられるものではありません。東部、中部、西部の青年中央会メンバーが県事業を通じ、互いの多様性を認め合い、より強固な関係を築き、たくさんの仲間をつくることで会員企業の発展、ひいては鳥取県全体の発展に繋がっていくと思っております。

私自身大変に身の引き締まる思いですが、これからも脈々と受け継がれてゆくであろう青年中央会の歴史の中で、県会長として、確かな1ページを刻むことができることを大変光栄に思っております。また、今年度は東部主幹の年度でもありますので吉田会長をサポートしながら東部地区と二人三脚で歩んでいこうと思っております。会員の皆様におかれましては県事業にあたりまして格別のご理解、また、ご協力をお願いいたします。

『英知・友愛・団結』の綱領のもと、全力でやり切る所存でございますので一年間どうぞよろしくお願いします。

令和元年度 四役会・役員会・例会日程

	四役会	役員会	例会	
令和元年	6月27日(木)	7月4日(木)	7月18日(木)	45周年記念式典／ニューオータニ鶴の間
	7月25日(木)	8月1日(木)	8月22日(木)	8月例会／パレット鳥取
	8月29日(木)	9月5日(木)	9月19日(木)	9月例会／パレット鳥取
	9月26日(木)	10月3日(木)	10月20日(日)	家族ふれあい例会
	10月31日(木)	11月6日(水)	11月21日(木)	11月例会／パレット鳥取
	11月28日(木)	12月5日(木)	12月19日(木)	12月例会
	12月26日(木)	1月9日(木)	1月23日(木)	新年例会／ニューオータニ鶴の間
令和二年	1月30日(木)	2月6日(木)	1月28日(火)or29日(水):予定	オープン例会／梨花ホール(仮)
	2月27日(木)	3月5日(木)	3月19日(木)	3月例会／とりぎん第二会議室
	3月26日(木)	4月2日(木)	4月12日(日)	フラワーフェスティバル／湖山池オアシスパーク
	4月30日(木)	5月7日(木)	5月21日(木)	5月例会／とりぎん第一会議室
	5月28日(木)	6月4日(木)	6月18日(木)	卒業例会／ニューオータニ鶴の間

Information

新入会員紹介

5月 高木 誠氏 株式会社若狭屋プロモーション 今を生きる僕たちの委員会
6月 峰 臣一郎氏 山陰中央テレビジョン鳥取支社 今を生きる僕たちの委員会



編集後記

44期から45期へ。今を生きる僕たちの委員会としても最後の大空担当となりました。6月卒業例会では7名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。現役、OBの皆様が一つとなって盛大に卒業生を送る青年中央会のパワーに圧倒されました。45期の吉田会長年度も6つの委員会が委員長、副委員長の元、英知を養い友愛を育み団結することで想いのある委員会活動や例会が実現できると思います。45周年を皆で盛り上げましょう！

6月卒業例会

今を生きる僕たちの委員会 委員長 伊藤 省吾

令和元年6月20日(木)、ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間にて6月卒業例会「7 of proof／七人の証」が開催されました。入場から閉会までムービーやBGMを工夫した例会でしたが、何より感動的だったのは卒業証書授与での茶谷会長と卒業生一人一人の当会への想いが溢れたスピーチでした。卒業生7名のそれぞれの在り方や価値観がしっかりと皆の心に刻まれました。また後半のラストステージ-証を刻め-では各委員会が様々な出し物を考え所属する卒業生の個性を活かした楽しく華やかな余興が行われました。6つの委員会が同じ方向を向いて質の高いステージングを実現できたことが、とても嬉しく今年度が誇らしくありがとうございました。この日を迎えるにあたってご協力賜りました現役会員、OB、関係各位の皆様本当にありがとうございました。担当委員会としましても、大変貴重な経験をさせて頂くことができました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。そして個性際立つ7名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

